



ORANGE CUP 2022

あなたが考える、
人間と野生動物とのトラブルをやさしく解決する技術



佐々木 美音 / 神奈川工業高等学校

キャッチフレーズ

動物と繋がり支え合うSNSアプリ

アイデアの説明

若者に親しみやすく手軽に、害獣と呼ばれる野生動物について考え、行動できるシステムを作りたいと考え、このアプリを作ろうと思った。

- ①人里に降りてきたりして出会った動物をスキャンしその動物と繋がり、フォローすることができる。
- ②プロフィールや動物の状況に応じて自動で投稿される文などから動物のことを知る。フォローすることでその動物を支援し、その動物と同じように困っている動物をアプリ内で探し、支援することも可能。



③ナワバリライブ。動物が多く集まるスポットを写し続けるナワバリライブでは、リアルタイムでコメントを残したり支援を行うことができる。同じ動物をフォローする人間と繋がったり、新たな動物との出会いがある。

④支援の内容としてはミニゲームや課金で得るゲーム内通貨で食べられるものや必要なものを購入し、購入したものがドローンでその動物の元へ届くようになっている。また、動物の管理を行う自治体に寄付することも可能。

このアプリが与える影響として、手軽さから多くの若者がアプリを利用しアプリが一般化することで、野生動物の事を知り、共に生きるという意識が定着する。また、積極的に支援を行うことで野生動物が人里に降りてくることにより生まれる被害がなくなる。野生動物が過ごしやすい環境を作ることで、すべての生き物が過ごしやすい環境につながる。